



日本の喫煙率は男性25.4%、女性7.7%だと、厚生労働省が公表しています。現在、喫煙者は全体の4分の1以下しかいない少数派なのです。タバコが有害である事が広く世間に浸透してきた結果だと言えるでしょう。また世間のいろんな所が禁煙になってきているのも同様の理由だと思われます。

この状況では、ニコチン依存症の喫煙者は「肩身の狭い」思いを募らせることでしょう。とりわけ喫煙場所がなかったり、遠くに離れていたりすると、左図のように「ここなら、隠れて吸っても見つからないかも・・・」なんて、身を潜めて吸ってしまう事もあるのです。そして、見つからずに吸い終われば、「しめしめ」と笑顔になるのでしょうかね。

皆さん、こんな光景をどう感じますか。もし、タバコを吸い始めてニコチン依存症になってしまうと、がまんできずに自分もこんな隠れ喫煙をしてしまうかもしれませんよね。本人は「しめしめ」でも、周りからは「恥ずかしく、みっともない」と見えるでしょうね。

産業デザイン科 奥田 恭久